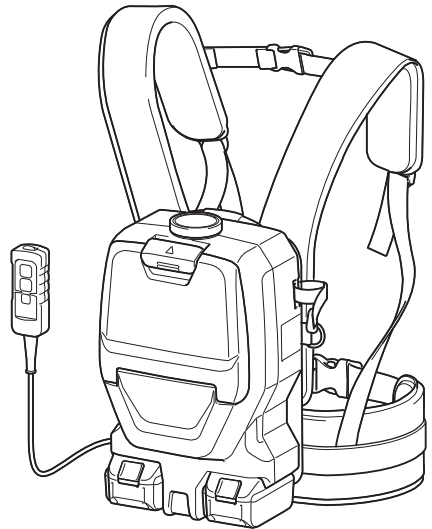


Makita

取扱説明書

充電式背負いクリーナー

モデル VC260D



このたびは充電式背負いクリーナーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 充電式背負いクリーナの使用上のご注意	11
・ 各部の名称	13
・ 標準付属品	14
・ 別販売品のご紹介	15
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	16
・ バッテリー保護機能	17
・ バッテリーについて	18
・ バッテリーについて	18
・ バッテリーを長持ちさせるには	18
・ バッテリーの回収について	18
・ 本機の装着	19
・ パイプ・ノズルの組み立て (VC260DZ)	21
・ 電動工具との接続 (VC260DZSP)	23
・ ホースの接続	23
・ フロントカフスの交換	23
・ スイッチの操作	24
・ 本機・バッテリー保護機能	24
・ ライトの使い方	25
・ フィルタの取りはずし・取り付け方	26
・ 紙パックの取りはずし・取り付け方	27
・ お手入れ	29
・ フィルタのお手入れ	29
・ 本機のお手入れ	29
・ 別販売品の使い方 (ダストバッグ)	30
・ 取り付け・取りはずし方	30
・ ゴミの捨て方	31
・ 運搬・移動	32
・ ご修理の際は	33

主要機能




主要機能	モデル	VC260D
電動機		ブラシレスモータ
電圧		直流 36 V (18 V × 2)
最大風量		1.5 m ³ /min
最大真空度		7.1 kPa
最大吸込仕事率		強 : 45 W 標準 : 25 W
集じん容量		2.0 L
連続作業時間 *1 (BL1850 × 2 個使用時)		強 : 約 60 分 標準 : 約 90 分
本機寸法		長さ 230 mm × 幅 152 mm × 高さ 373 mm
質量 (BL1850 × 2 個 取付時)		4.3 kg

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

*1：時間は参考値です。バッテリーの充電状態や作業条件により異なります。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 針、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

⚠ 警告

2. **安全保護具を使用してください。**
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. **不意な始動は避けてください。**
 - ・ バッテリーを本機に挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. **充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。**
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
6. **きちんとした服装で作業してください。**
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. **集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。**
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1. **充電工具は能力に合った作業に使用してください。**
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. **スイッチに異常がないか点検してください。**
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. **充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。**
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ 本機の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業

⚠ 警告

4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。(バッテリーカバー付きの場合)
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを挿し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを挿し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

⚠ 警告

4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。（バッテリーカバー付きの場合）
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
10. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
12. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
13. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
14. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。（右図の○部分）



⚠ 警告

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - 本機やバッテリーが異常に熱い。
 - 本機やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - 爆発や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・感電の恐れがあります。
11. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
 - ・充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の効率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式背負いクリーナの使用上のご注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式背負いクリーナとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB236-2

⚠ 警告

- 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 可燃物が大量に舞っている場所で使用しないでください。
 - 火災の原因となります。
- 以下のものは吸わせないでください。

引火性物質

 - 油類（灯油・ガソリンなど）
 - 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
 - マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
 - トナーなどの可燃物
 - 塗料
 - 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
 - 可燃性ガス（スプレーなど）
 - じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質

 - ニトログリセリンなど

発火性物質

 - アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）
固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤
大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）
中毒症状を起こす物質
薬品類
液体や湿ったゴミ
動物などの排泄物、吐しゃ物
- 排気口をふさがないでください。
 - モーターが焼損し、火災の原因になります。
- 本機を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
 - 感電や故障の原因になります。
- 作業中は、ホースや背負っている本機の位置や周りの環境に注意してください。
 - 構造物に当たったり、引っかけるなど転倒の恐れがあります。また、他人に当たるとけがをさせる恐れがあります。

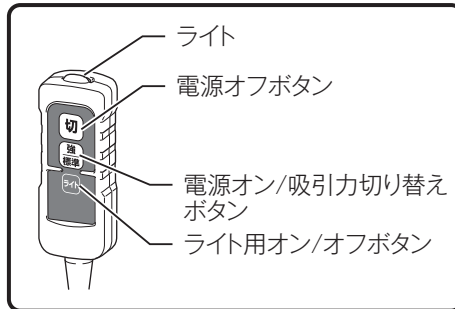
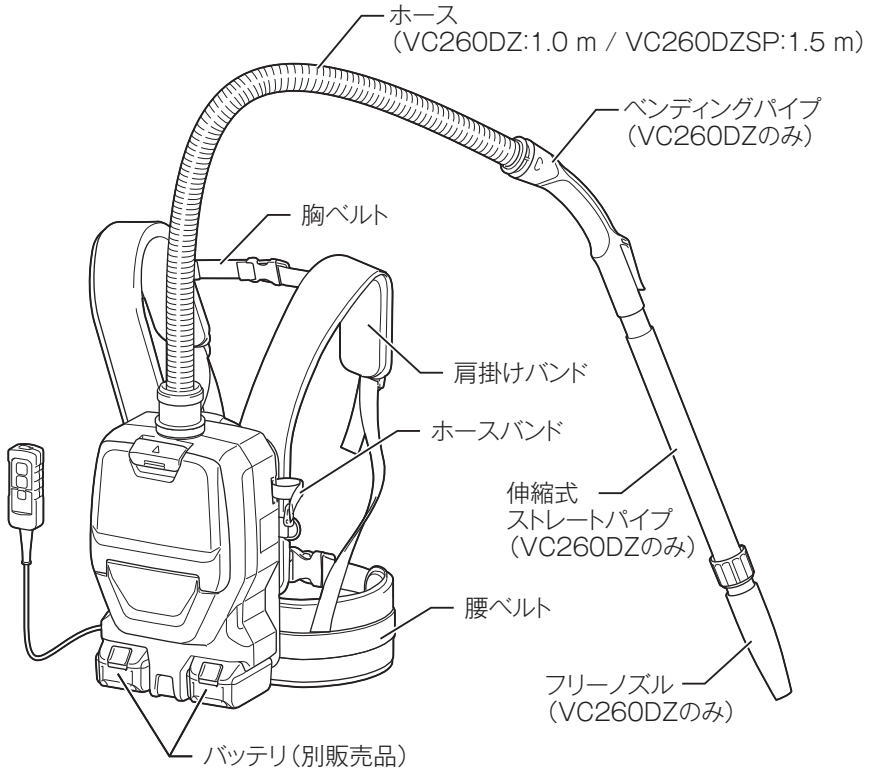
⚠ 警告

7. 転倒などによる本機の変形、破損防止のため、本機は静かに移動してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
 - ・ 過熱による本機の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本機の変形の原因になります。
3. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - ・ モーター焼損など、故障の原因になります。
4. 紙パックは正しくセットして使用してください。紙パックをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れた紙パックを使用したりしないでください。
 - ・ 粉じんが漏れ、作業者が吸い込む恐れがあります。また、モーターが発熱して火災の原因になります。
5. 紙パックにゴミが大量にたまったまま使用しないでください。
 - ・ 粉じんが漏れ、作業者が吸い込む恐れがあります。

各部の名称



標準付属品

標準付属品

標準付属品	モデル	VC260DZ	VC260DZSP
ホース (内径 28 mm × 1.0 m)		○	×
ホース (内径 28 mm × 1.5 m)		×	○
ベンディングパイプ		○	×
伸縮式ストレートパイプ		○	×
フリーノズル		○	×
ノズル		○	×
フロントカフス 22		×	○
ホースバンド (本機取り付け)		○	○
HEPA フィルタ (本機取り付け)		○	○
紙パック (本機取り付け)		○	○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

- ・ バッテリー BL1815N (容量 1.5 Ah)
部品番号 A-60311

- ・ ラウンドブラシ
部品番号 A-37471

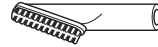


- ・ バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah)
部品番号 A-60442

- ・ バッテリー BL1840 (容量 4.0 Ah)
部品番号 A-56596

- ・ 棚ブラシ
部品番号 A-37552

- ・ バッテリー BL1850 (容量 5.0 Ah)
部品番号 A-57196



- ・ バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
部品番号 A-60464

- ・ じゅうたん用ノズル
部品番号 A-37546

- ・ フリーノズル
部品番号 A-60654



- ・ 紙パックセット品 (10 枚入り)
部品番号 A-59988

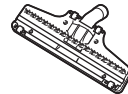
- ・ ダストバッグアッセンブリ
部品番号 A-59966

- ・ フレキシブルホース
部品番号 A-37568

- ・ HEPA フィルタ
部品番号 A-60822



- ・ フロア・カーペットノズル
部品番号 A-59950



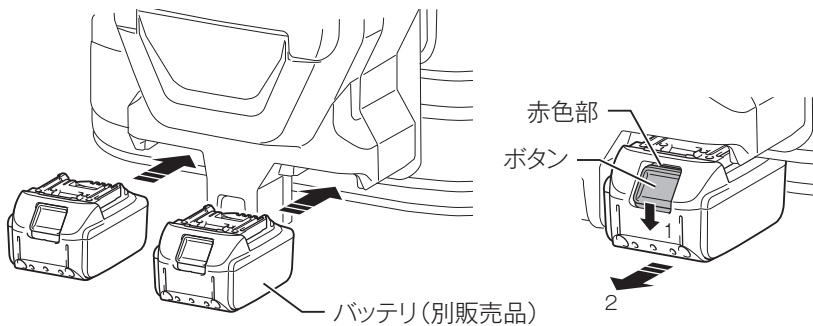
バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

- ・ バッテリーを取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



注

- ・ バッテリー取り付け時に、指をはさまないようにしてください。
- ・ 必ず充電済みのバッテリー 2 本を取り付けてください。
 - ・ バッテリーが 1 本の場合やバッテリー 2 本のうち片方が充電されていない場合はスイッチが入りません。

バッテリー保護機能

バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

★マーク付きバッテリーを使用する場合

- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。

このときはいったんスイッチを切り、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。

このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますかまたは、充電してください。

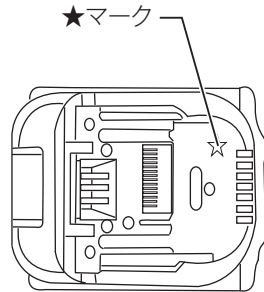
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

★マークなしバッテリーを使用する場合

- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。

このときはいったんスイッチを切り、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。パワーが落ちてきたと感じたら本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。



バッテリーについて

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、少し冷めてから充電してください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、充電した後に本書と梱包箱に収納して保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



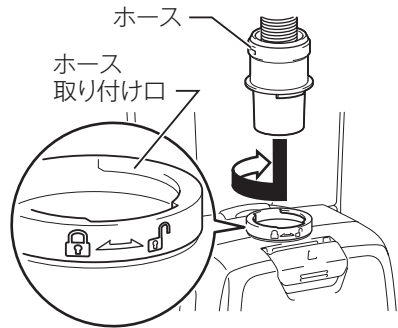
リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

本機の装着

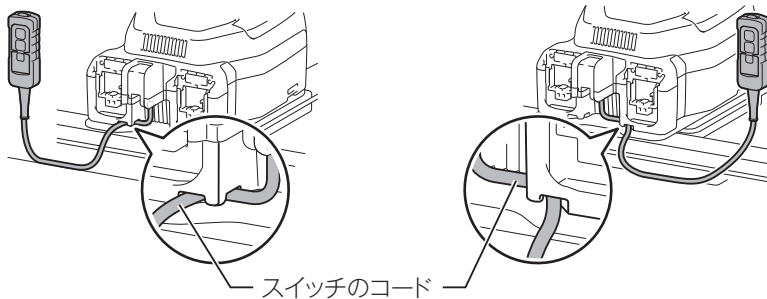
⚠ 注意

装着前に、バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

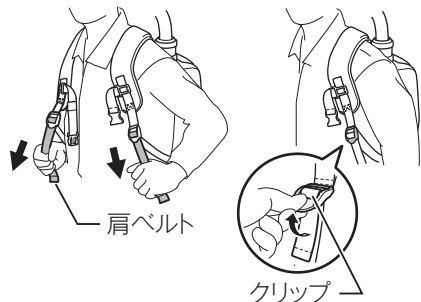
1. ホース取り付け口にホースを挿入し、右方向に止まるまで回して固定します。



2. 本機底面の溝にスイッチのコードをはめ込み、コードがたれ下がらないように固定します。左右どちらにも取り付けることができます。

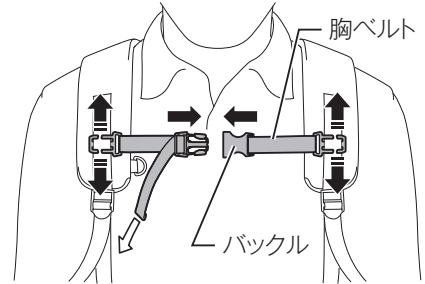


3. 本機を背負い、肩ベルトの長さを調整します。(肩ベルトをゆるめるときは、クリップを図のように持ち上げます。)

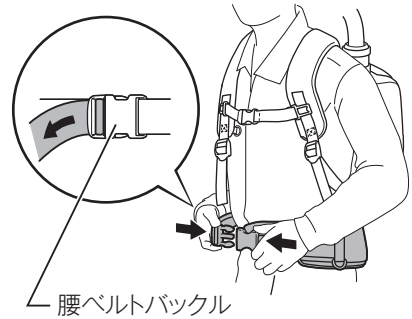


本機の装着

4. 胸ベルトの上下位置を調整します。
5. バックルをはめ、長さを調整します。

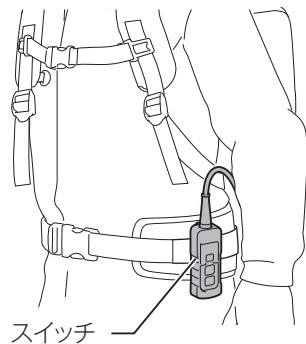


6. 腰ベルトのバックルをはめて長さを調整します。



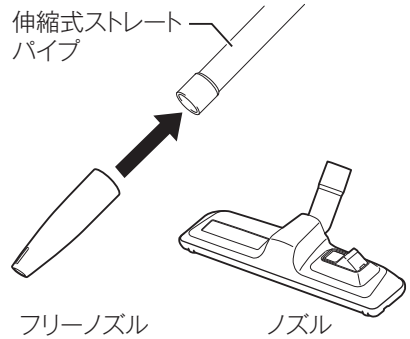
注

- ・ 腰ベルトがゆるんだり、はずれた状態で使用しないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
7. スイッチを腰ベルトに差し込んで固定します。

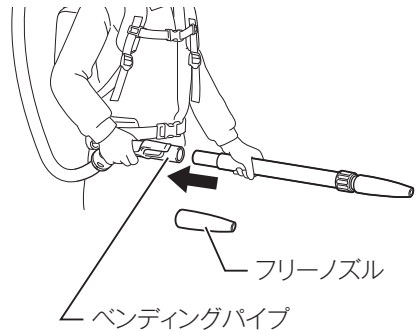


パイプ・ノズルの組み立て (VC260DZ)

1. 伸縮式ストレートパイプにフリーノズル、またはノズルを差し込みます。
※フリーノズルは、ベンディングパイプに直接差し込んで使うこともできます。(手順2)



2. ホース先端のベンディングパイプに組み立てたパイプ、またはフリーノズルを差し込みます。



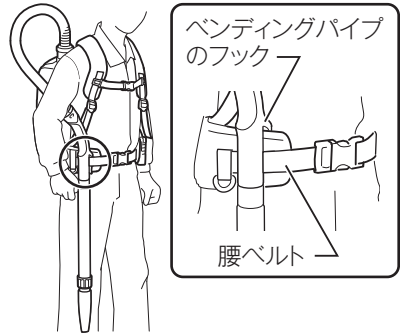
3. 伸縮式ストレートパイプは、手元の固定リングをゆるめることで、長さの調整ができます。
調整後は、しっかり締め付けてください。



パイプ・ノズルの組み立て (VC260DZ)

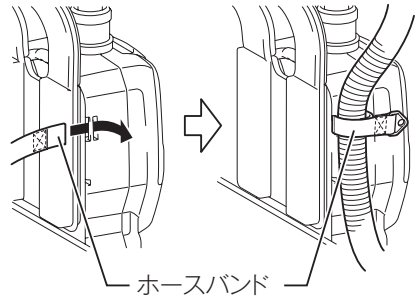
ベンディングパイプの固定

- ・ ベンディングパイプのフックを腰ベルトにかけて固定することができます。

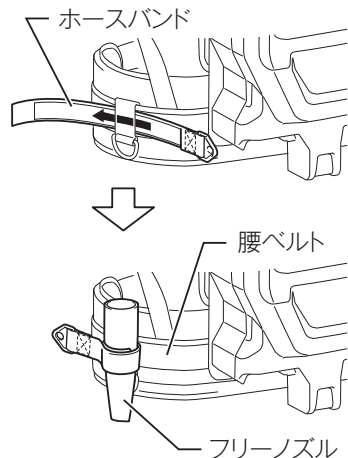


ホースバンドの使い方

- ・ ホースバンドでホースを本機に固定することができます。(ホースバンドは本機の左右どちらにも取り付けが可能です。)



- ・ 腰ベルトに通して、フリーノズルなどを収納することができます。



電動工具との接続 (VC260DZSP)

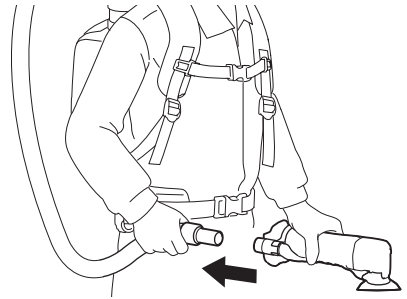
⚠ 警告

本機を電動工具に接続する際は、本機のスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。また、電動工具もスイッチを切り、バッテリーを抜くか、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 急に動きだし、事故の原因になります。

ホースの接続

- ・ ホースに電動工具の粉じん排出口を接続します。

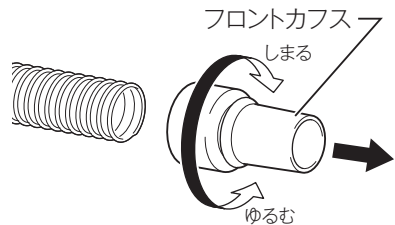


注

- ・ ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本機を移動させたりしないでください。
 - ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

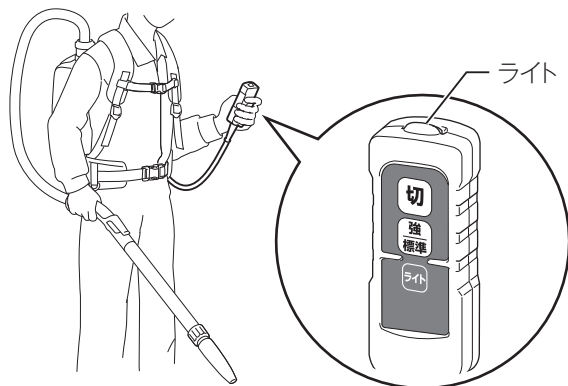
フロントカフスの交換

- ・ 電動工具の粉じん排出口の大きさに合わせて、フロントカフスを取り替えてご使用ください。
- ・ 取りはずす場合は、ホースを持ってフロントカフスを回せば取りはずせます。
- ・ 取り付ける場合は、止まるまでホースにねじ込んでください。



スイッチの操作

- ・ スイッチは、**強標準**を押すと入ります。
- ・ **強標準**を押すたびに、風量が「強」・「標準」と交互に選択されます。
- ・ スイッチは、いずれの風量でも**切**を押すと切れます。



本機・バッテリー保護機能

本機およびバッテリーの寿命を延ばすために、自動停止する機能です。

過放電保護機能

- ・ バッテリー残容量が少なくなると、本機は自動停止します。スイッチを操作しても本機が動作しない場合、バッテリーをはずして充電してください。

過負荷保護機能

- ・ モーターに異常な負荷がかかると、本機は自動停止します。

高温保護機能

- ・ ホースにゴミが詰まったり、フィルタが目詰まりするなど本機に空気が流れない状態で使い続けると本機が熱くなり、自動停止します。ライトが約1分間点滅し、その後消灯します。

ライトが点滅中に**ライト**を押すと、ライトは点滅前の状態に戻ります。

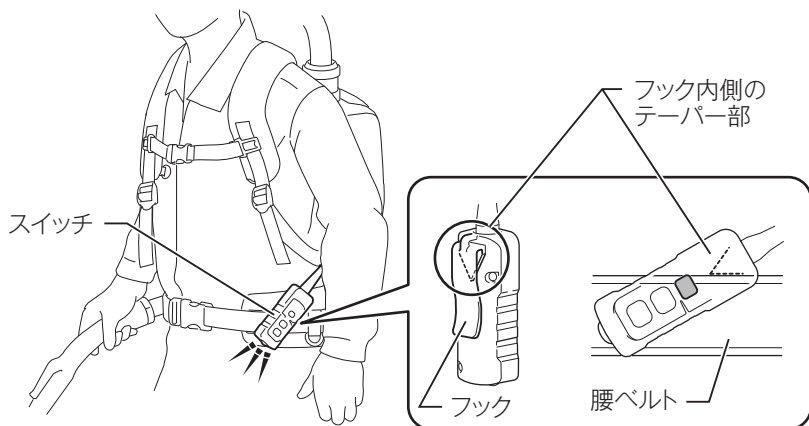
ライトの使い方

⚠ 警告

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。また、他人の目に当てないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

- ・ ライトは、**ライト**を押すと点灯し、再び押すと消灯します。
- ・ ライトのみの使用時は、約 10 分間で消灯します。
- ・ モーターの作動中は、ライトの点灯時間に制限はなく、モーターが停止すると約 10 分後に消灯します。
- ・ 図のようにフック内側のテーパ部を腰ベルトに固定すると、斜め前方を照らすことができます。



注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは綿棒などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。

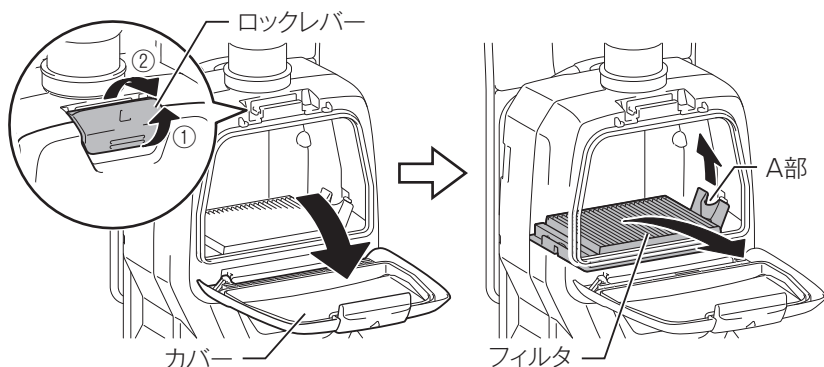
フィルタの取りはずし・取り付け方

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機からバッテリーを抜いてください。
・ 本機にバッテリーを差したまま行くと、事故の原因になります。

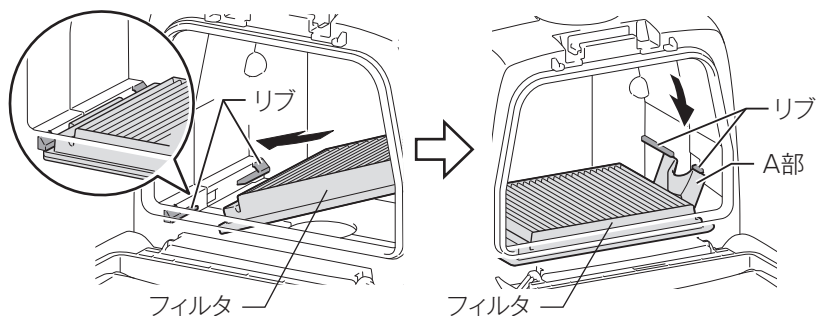
取りはずし方

1. ロックレバーを①→②の手順で操作して、カバーを開きます。
2. フィルタの A 部に指をかけ、引くようにして持ち上げます。
3. フィルタを手前に取りはずします。
4. カバーを閉じます。



取り付け方

1. カバーを開きます。
2. フィルタを図の向きにして、左側をリブ（2か所）の下に差し込みます。
3. フィルタの A 部をリブ（2か所）の下に押し込みます。
4. カバーを閉じます。



注

・ フィルタやカバーが確実に固定されていることを確認してください。

紙パックの取りはずし・取り付け方

⚠ 警告

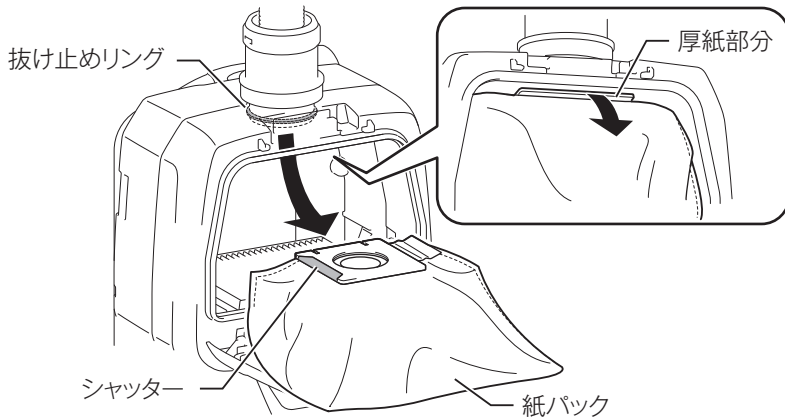
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機からバッテリーを抜いてください。
・ 本機にバッテリーを差したまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。
・ モーターの故障の原因になります。

取りはずし方

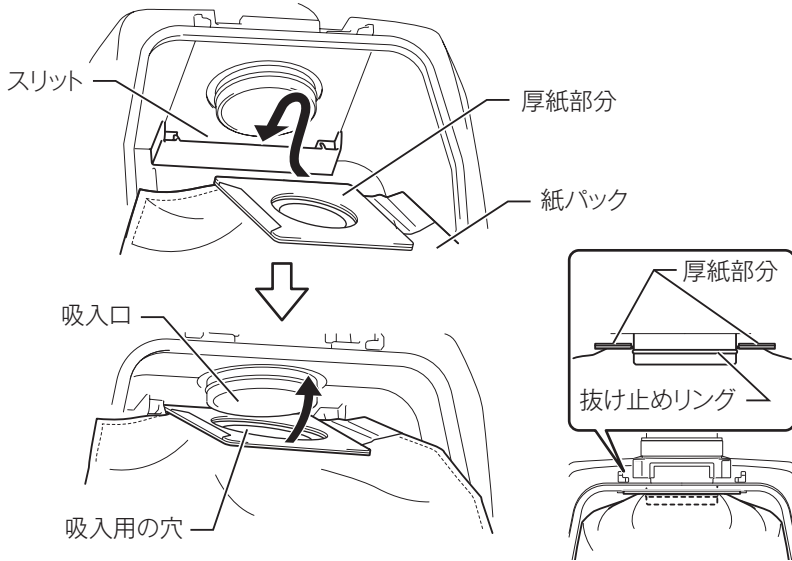
1. カバーを開きます。(26 ページ 取りはずし方の手順 1 参照)
2. 紙パックの厚紙部分を矢印方向に引き、抜け止めリングからはずします。
3. 紙パックを手前に取りはずします。
4. シャッターを引いて、ゴミがこぼれないようにします。
5. カバーを閉じます。



紙パックの取りはずし・取り付け方

取り付け方

1. カバーを開きます。(26 ページ 取りはずし方の手順 1 参照)
2. 紙パックを広げて、吸入用の穴を本機の吸入口に合わせます。
3. 紙パックの厚紙部分が吸入口の抜け止めリングより奥になるように、しっかり押し込みます。
4. カバーを閉じます。



注

- 紙パックやカバーが確実に固定されていることを確認してください。

お手入れ

⚠ 警告

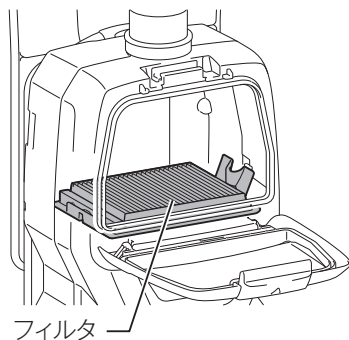
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機からバッテリーを抜いてください。

- ・ 本機にバッテリーを差したまま行くと、事故の原因になります。

フィルタのお手入れ

※フィルタの取りはずし方は、26 ページを参照してください。

- ・ フィルタの目詰まりは吸引力を著しく低下させますので、フィルタに付着したほこりはこまめに取り除いてください。
- ・ ちり落としの方法は、フィルタ全体を手で軽くはたいてください。
- ・ フィルタは水洗いができますので定期的（1～2ヶ月毎）に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後は陰干して完全に乾燥させてからご使用ください。



注

- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
- ・ ブラシ、ヘラなどの硬いものでフィルタをこすってキズを付けないようにしてください。
- ・ フィルタをエアブローアや高圧洗浄機で掃除をしないでください。排気口より粉じんなどが内部に入り込み、故障の原因になります。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

別販売品の使い方（ダストバッグ）

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機からバッテリーを抜いてください。
・ 本機にバッテリーを差したまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

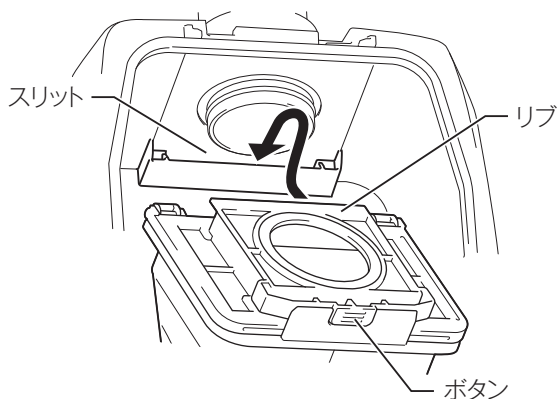
水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。
・ モータの故障の原因になります。

取り付け・取りはずし方

・ 紙パックと同様です。27、28 ページを参照してください。

注

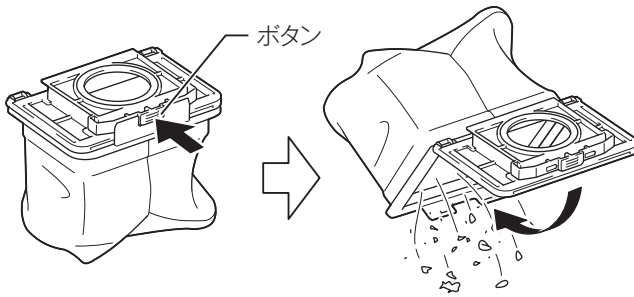
・ 取り付ける際は、ボタンが手前になるようにしてください。



別販売品の使い方（ダストバッグ）

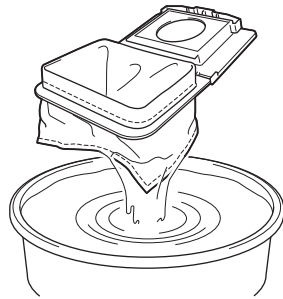
ゴミの捨て方

1. ボタンを押して、ダストバッグの口を開きます。
2. 内側にたまったゴミを捨て、軽くたたくようにフィルタに付着したゴミを落とします。



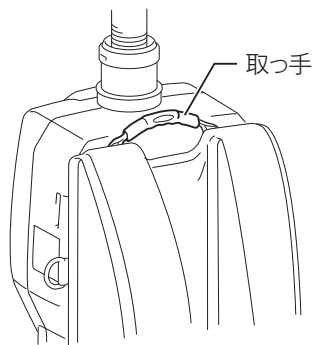
注

- ゴミをためすぎると重くなり、袋が破れる恐れがありますので、ゴミはこまめに処分してください。
- 袋は、ときどき薄めた中性洗剤でもみ洗いをし、よく乾燥させてからご使用ください。乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。



運搬・移動

- ・ 運搬・移動する場合は、図のように取っ手を持って行ってください。



ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

882950D9
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)